

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL 763-5110 FAX 763-5121
 E-mail chikusa_rc@hkg.odn.ne.jp

会長 吉田 玄
 幹事 福井 浩道
 公共イメージ委員会 林 永芳

No. 30

ロータリー：変化をもたらす ROTARY：MAKING A DIFFERENCE

2017～2018年度

RI会長
イアンH.S.ライズリー

今日の例会

第1679回 平成30年 3月27日(火)
友愛の日

先回の例会

第1678回 平成30年 3月20日(火) 雨
職場例会【昭和塾堂】
城山八幡宮 12:30

吉田会長挨拶

今日は、先日、鍋野君のお見舞いに伺ってまいりました。今月初めに内視鏡手術をされましたが、手術は成功しとてもお元気でした。静養のため4月一杯までクラブはお休みされます。

本日は加藤重雄君のゲストとして平野誠輔君、牧野登志子さんのゲスト牧野和佳奈さん、渡邊源市君のゲスト渡邊正寛様、ようこそお越し頂きました。

度々の当社職場例会で恐縮です。今日はこの後、境内にあります「昭和塾堂」を見学して頂きます。先週大体お話しを致しましたので本日はご案内に時間を掛けます。先週お話しできなかった分の昭和塾堂の事を少しご紹介いたします。

福岡県知事の柴田善三郎氏が愛知県知事として就任したのは、大正15年9月。従来より青年教育に非常な関心と熱意をもっていた知事は、就任早々の11月、愛知県議会へ「教化殿堂建設予算案」を提出しました。その目的には「各地に青年団、女子青年団、青年訓練所等が設置され、各種団体の成人教育施設を盛んにしようとしているが、その中心になる人物を育成することが最も必要であり、殿堂は各種の社会教育的教養場として利用しなければならない。多くの学校は作っているが、最も重要な社会教育の中軸機関がない。その効果は二つや三つの学校の増設より大きな効果を収め得る」とあります。12月、侃々諤々の通常議会でしたが、この教化殿堂建設は決定しました。建設候補地は、大高、東山公園、守山、城山と、四ヶ所の候補地が選定されました。最終的に、強硬に反対をしていた八幡宮の氏子惣代を説得し、この城山の地に決定しました。

命名について柴田知事は、昭和改元の記念事業ということも加味し「昭和塾堂」としました。大正から昭和初期のこの時代、青年層に対する教育に国も県も、最も力を入れました。この昭和塾堂はその先駆的な施設でした。研修を受けた受講生は10数万人にもものぼり、県下の指導的青年層として各界で活躍しました。東久邇宮稔彦殿下、徳富蘇峰等を始め、全国からの視察が相次ぎ、その後、各府県では青年教育施設が次々に建設されていきました。県内の青年団・女子青年団の他、様々な団体がこの施設で研修や会議を行いました。現代でいえば総合社会教育センターといえます。鉄筋コンクリート造の施設としては大阪と並び2例しかありません。他府県は木造で現存せず、大阪の施設も現在残っていません。今はもう日本ではこの昭和塾堂のみが現存しており、学術的に

◆それでこそロータリー

◆ゲスト紹介

加藤重雄君ゲスト	平野 誠輔 様
牧野登志子さんゲスト	牧野 和佳奈 様
渡邊源市君ゲスト	渡邊 正寛 様

◆出席報告

正会員	36(29)名	出席	23名
名誉会員	1名		
出席率(名誉会員除く)			82.76%
前々回	2/26(修正出席率)		86.67%

福井幹事報告

- 1) 次週例会終了後、理事役員会開催致します。
理事役員の皆様はご予定下さい

伊藤職業奉仕委員長挨拶

本日は吉田会長にお世話になります。また、お食事は松楓閣さんに大変美味しいお弁当をご用意頂きました。ありがとうございます。

私事ですが、3才～20才過ぎまで四谷通りを上った山の上、園山町におりまして、小学生の頃は家の前からこの昭和塾堂やテレビ塔まで見渡せておりました。城山八幡宮は末森城跡の由緒ある土地柄です。今回は会長のご厚意で大変貴重な建物を見学させていただきます。詳しい説明は、また後程吉田会長より解説頂きますので宜しくお願い致します。

は、高く評価されています。

大変複雑な構造になっており、向かって左の右翼棟、右の左翼棟、塔屋の真後ろに講堂の棟があり、「人づくりの殿堂」であることから、横から見ても、上から見ても、人文字形に設計されました。設計は、建築構造学の権威、佐野利器（としかた）博士の助言を受け、県営繕課の酒井勝、安藤武郎、意匠図は黒川紀章の父、黒川巳喜、構造図は尾崎邦彦が行いました。佐野博士は、昭和8年の現名古屋市役所本庁舎や、昭和13年の現愛知県庁舎の設計にも関与し、塾堂はその魁ともいべき近代建築であり、平成30年には築90年を迎えます。昭和3年の竣工より90年、塾堂は様々な変遷を経、昭和42年より県から払い下げを受けた八幡宮が所有管理していますが、その歳月はやはり相当の傷みを招いています。

「昭和塾堂」は下記のような経緯で現在当社の施設になっています。重要文化財級の近代建築物といっても、保存には大変な経費が掛かり、現在重要文化財か解体かの分岐点に来ています。でき得れば文化財として残し、観光や文化施設として利活用して行く事によって永く守りたいとの思いですが、一人八幡宮の力のみでは保存・活用は不可能です。今はまだ「保存の可能性はある」という段階です。

区役所時代や愛知学院研究棟だった時の内部改装を全て取り外しており、建設当時の内部の様子がはっきり目に見える状態です。恐らくこの状態を見ている方は殆どいないと思います。実は私も昨年初めて目にした程度です。もし解体という事になれば貴重な経験になるかもしれませんが、ゆっくり見学をなさって行って下さい。

尚、本日急ぎの方は中途でお帰り頂いても結構ですが、建物の中で行方不明になっては困りますので、入口の係にお名前だけお伝え頂いてお帰りになるようお願い致します。



昭和塾堂

【建物の概要】

構造	鉄筋コンクリート造 コンクリート葺地下1階 付4階建
床面積	1階 820.175 m ² 2階 776.875 m ² 3階 93.75 m ² 4階 59.75 m ² 地下1階 314.15 m ²
総床面積	(2064.7 m ²)
高さ	塔屋部(塔先端まで) 32m
翼部	13.6m
建坪	820.175 m ²
敷地	22945.726 m ² (当時八幡宮境内を含めた数字)
建築主	愛知県



設計 愛知県営繕課

施工 志水組

【建物経過】

大正15年12月21日 通常愛知県議会にて昭和塾堂建設費予算12万円決議

昭和2年5月21日 八幡社より県へ土地の無償貸与

昭和2年6月4日 地鎮祭

昭和2年8月30日 新築

昭和2年9月12日～昭和3年11月1日 県下青年団員 1069名労力奉仕

昭和3年1月6日 着工

昭和3年11月13日 竣工

昭和4年1月9日 使用開始：県・文部省共催成人教育講習会

昭和4年3月25日 落成式：総工費16万円

昭和5年1月11日 堀内文吉塾堂長事務取扱任命

昭和5年6月13日 同 塾堂長任命

昭和6年2月 体育殿竣工

昭和9年2月 塾堂長公舎竣工

昭和16年2月 堂舎竣工

昭和18年 軍(いかり部隊)に接收

昭和19年～昭和20年8月 東海軍司令部駐留

昭和20年8月 名古屋帝国大学医学部へ無償貸与

昭和23年～ 愛知県青年団が塾堂返還運動

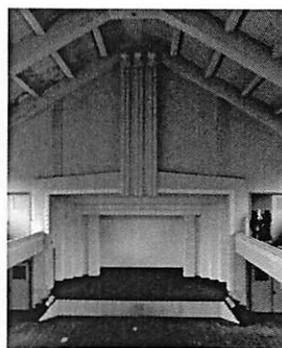
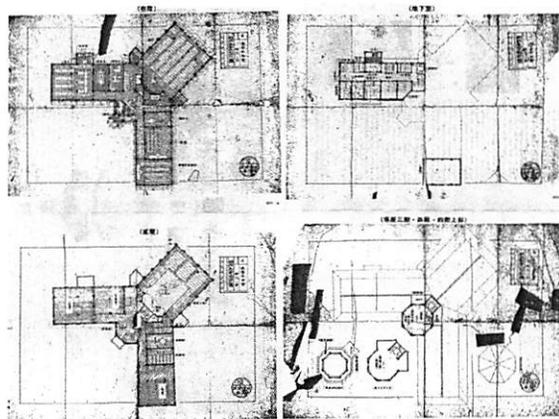
昭和23年～昭和38年12月末 県教育文化研究所・職員研修所

昭和41年2月1日～昭和45年1月 千種区役所仮庁舎

昭和42年4月20日 八幡宮へ払下げ完了

昭和45年1月～ 愛知学院大学大学院歯学研究棟

平成29年4月30日 愛知学院大学賃貸借契約終了



*ニコボックスは次回掲載させていただきます

次回例会 平成30年4月3日(火) 12:30 4階 雅の間
友愛の日